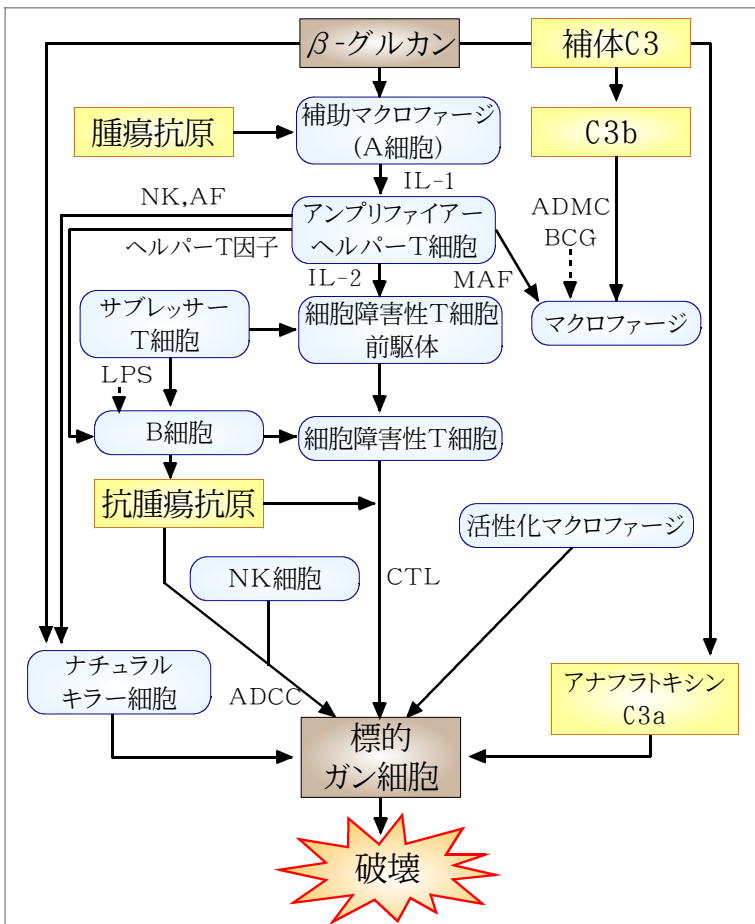
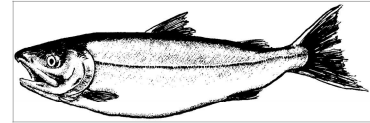


# ノルウェー・βグルカン



ノルウェーサーモンの危機から誕生



## 抗生物質の耐性をストップ

1980年代初期、ノルウェーでサケの養殖産業が始まった頃、養殖のサケが細菌による深刻な伝染病の感染で、ノルウェーの養殖家は毎年かなりの量のサケを失いました。

ノルウェー国立トロムソ大学のヤン・ロー教授は、抗生物質を養殖サケに投与するのではなく、サケの免疫システムを自然に強化し、バクテリアに感染しにくくする新しい方法を発見しました。教授は、ワクチンと免疫を高める“β1,3/1,6グルカン”（パン酵母に含まれるグルカン）の実験を始め、後に、“β 1,3/1,6グルカン”に関して非常に多くの研究がなされ、効果的に免疫性を高める、非常に強力な免疫向上物質であることが知られました。

## 特許化された β1.3/1.6グルカン(NBG)

ヤン・ロー教授らは研究を重ね、壊れやすいβ1,3/1,6グルカン分子を、パン酵母から損傷や破損せずに抽出できる方法を発見しました。この抽出方法は、後に世界レベルで特許化されました。教授は、幅広い研究を通して、適切な投与量を体重1kgにつき5～10mg（体重50kgは約250～500mg）と決定しました。現在は、この研究成果をノルウェー産の“β 1,3/1,6グルカン”（NBG・Norwegian Beta Glucan）として、特許製品化されています。



ヤン・ロー教授

ジなどの免疫担当細胞が、腸に入ってきた種々雑多な物質を的確に見分ける力は、「自然治癒力」の力です。ガンは免疫抑制の極限で起こる病気です。従って、体内の免疫細胞であるリンパ球を活性化させることが、ガンの予防と治癒に繋がります。

## βグルカンのがん細胞に対する作用

### 高齢者は“腸管免疫”が重要だ

人は加齢と共に免疫能が低下しますが、特に高齢者は“腸管免疫”が重要な生体防御の役割を果たしています。感染症、ガンの予防や治療に於いても、“腸管免疫”を活発な状態にする事が重要です。

## 腸管免疫の重要性

腸管は体の中とはいえ、有害な物質や病原菌なども侵入してきます。身体を守る免疫系にとっては最前線なのです。リンパ球やマクロファ

